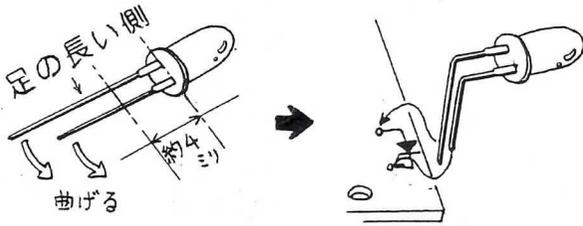




⑤最後に LEDランプ L1~L8を下図のように取り付けます。足の長短に気をつけてください。



⑥できあがりでしたら、部品の取り付け間違いやハンダ付け不良がないか等を確認してください。

【動作チェック】

下図のように、基板両端の+-と書かれた場所のどちらか一方にDC9~15Vの電源を接続してください。このとき極性を間違えないように注意してください。

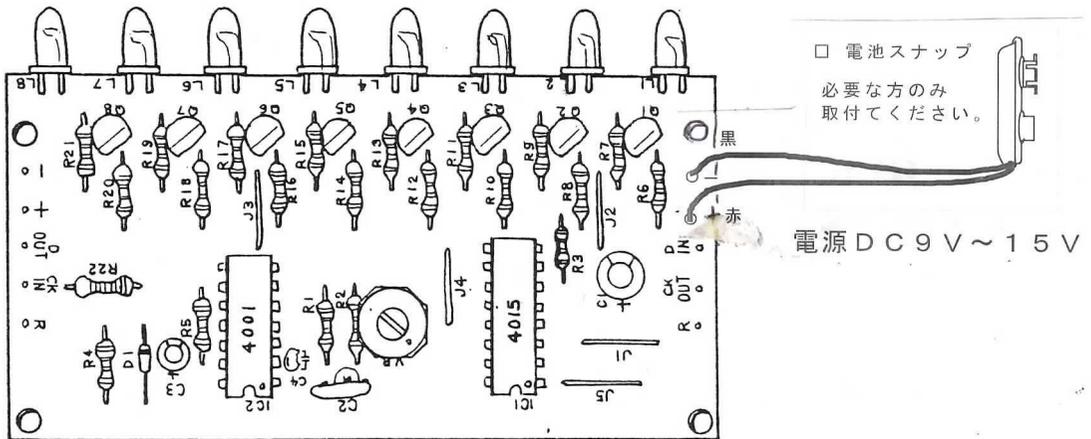
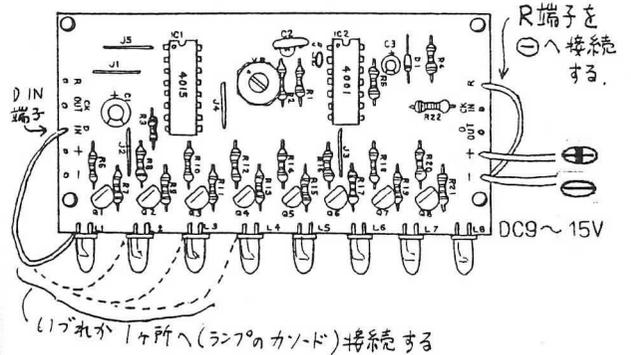
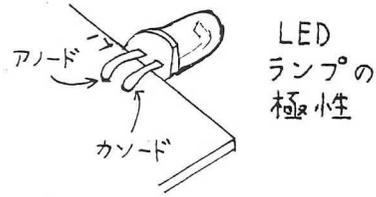
すると LEDランプがL1から順に光ってゆきます。最後の LEDまで光ると、しばらくしてすべての LEDランプは消え、同じ動作を繰り返します。

点灯してゆくスピードは基板上の半固定ボリューム VRで調整することができます。うまく働かないときはすぐに電源を切り、ハンダ付け不良や部品の取り付け間違いがないか、もう一度確認してください。

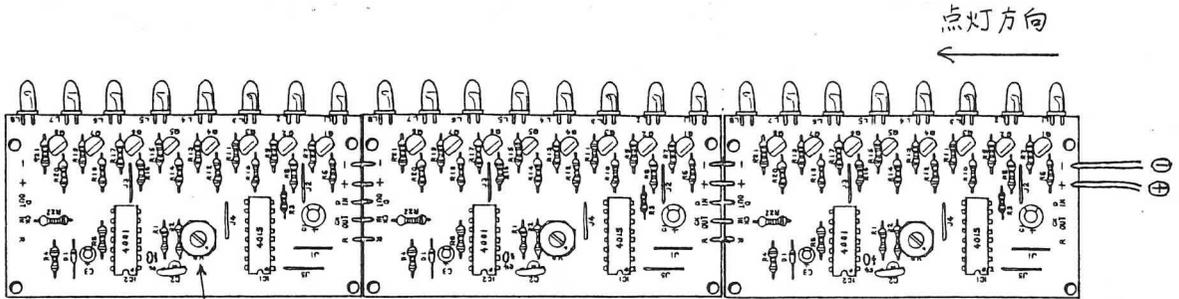
【応用】

●ランプの点滅が流れるようなディスプレイを作る

基板端のD IN端子を LEDランプのカソード側に接続すると、点滅する光の走るイルミネーションになります。また、つなぐ LEDランプを替えると点滅のしかたにバリエーションを持たせることができます。電源ONのあと、点灯が安定しないときは一度切り離して、再び接続してください。

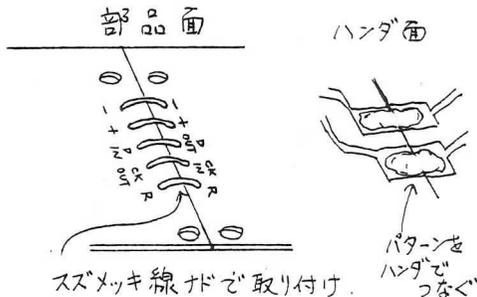


- 本キットを複数枚使ってたくさんのLEDランプを端から順に点灯させてゆく場合の接続例



このポリウムで速度調節ができます。

### 基板間接続の方法



- 複数枚の接続で、基板間の配線以外は、パーツの変更、取り外し、ジャンパー変更等は必要ありません。

上図のような方法で基板間を接続すれば最大 8枚の基板(ランプ 64個分)をひとまとめにして使用できます。この時ランプはL1側が空いている最も端の基板から光り始めます。そして全てのランプが点灯した時点で一齐に消え、同じ動作を繰り返します。点灯スピードは最後に光る基板上の半固定ポリウムで調節できます。

また、点滅が流れるような接続(前項参照)の場合も同様に配線してください。なお、D IN端子の配線は点灯し始めるランプの基板から行ってください。また、任意の1ヶ所でR端子とθ端子を接続しておいてください。

### ● LEDのかわりに小型電球を光らせる

本キットではランプをLEDのかわりに模型用の小型電球をつけることができます。この場合はLEDに替えて電球を取り付け、抵抗R7, 9, 11, 13, 15, 17, 19, 21の両端ををショートしてください。(抵抗を取り外してジャンパー線をハンダ付けしても良い。つまり電球の片方の線が電源⊕につながります)

なお、ランプはDC9Vから12Vまでのものを使用し、基板に接続する電源の電圧は使用するランプの電圧に合わせてください。

### 【注意】

- 本キットに接続する電源には、光るランプの数に応じた電流容量のものが必要です。特に複数枚を接続して使用する場合は注意してください。なお、LEDの場合は、おおよそ(2mA×光る個数)の電流が流れます。
- 本基板を複数枚使用する場合、信号線の駆動能力の関係により、最大8枚までで使用してください。

# 非公開

(回路図は製品版に記載されています)

## 基本回路図



インターネットホームページ紹介

<http://wonderkit.kyohritsu.com/>



ワンダーキットの商品がインターネットで購入できます。

新商品情報や説明書PDFファイルも掲載!

<http://wonderkit.kyohritsu.com/>

☑ 当キットの規格以外の使い方や改造の仕方についての御質問はご遠慮下さい。規格以外の使い方や改造による不動作、部品の破壊等の損害については一切補償致しかねます。

当キットについての、ご質問は質問事項、明記の上「封書」「FAX」「Eメール」をお願いします。お電話ではお答えいたしかねます。(内容によっては回答に時間のかかる場合があります。)

[FAX 06 6644 4448]

[Eメール wonderkit@keic.jp]

[ホームページ <http://Wonderkit.kyohritsu.com/>]

# ワンダーキット

〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-5-1

TEL 06-6644-4447 FAX 06-6644-4448